

平成23年7月14日

能代市長 齊藤 滋宣 殿

能代市環境マネジメントシステム監査委員会

主任監査委員 江崎 美枝子

副主任監査委員 高橋 鈴子

独自目標監査報告書

L A S-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日

平成23年7月14日（木）

2. 監査対象

能代市役所

3. L A S-E監査内容

【独自目標（平成22年度実績）監査】

① エコアクション(環境活動)部門	第1ステージ	A110
② エコマネジメント(環境経営)部門	第1ステージ	B110
③ エコガバナンス(環境自治)部門	第1ステージ	C107
④ その他		

4. 監査結果

	項目	平成 22 年度 目標数値	基準年	達成 状況	部門	評価
1	温室効果ガス排出量の削減	1.0%以上	平成 20 年度	×	エコア クシ ョ ン 部 門	△
2	ガソリン使用量の削減	現状維持	平成 20 年度	×		
3	軽油使用量の削減（除雪車・ト ラックを除く）	3.0%以上	平成 20 年度	×		
4	灯油使用量の削減	1.0%以上	平成 20 年度	○		
5	重油使用量の削減	3.0%以上	平成 20 年度	○		
6	液化石油ガス（LPG）使用量 の削減	2.0%以上	平成 20 年度	○		
7	都市ガス使用量の削減	1.0%以上	平成 20 年度	×		
8	電気使用量の削減	1.0%以上	平成 20 年度	×		
9	公用車走行距離の削減	現状維持	平成 20 年度	○		
10	水道使用量の削減	現状維持	平成 20 年度	×		
11	事務用紙使用量の削減	現状維持	平成 20 年度	×		
12	燃えるごみ排出量の削減 燃えないごみ排出量の削減	1.0%以上	平成 20 年度	×		
13	リサイクル率の向上（廃棄物全 体に占める資源ごみの割合）	80%以上	—	×		
14	自然環境の保全	—	—	—	第2ス テージ エコア クシ ョ ン 部 門	—
15	安全・安心な食と地産地消	—	—	—		
16	安全で安心した飲料水の確保 と生活排水対策	—	—	—		
17	循環型社会の形成	—	—	—		
18	省エネルギー対策	—	—	—		
19	ごみのないきれいなまちづく り	—	—	—		
20	環境に関する職員研修の開催	年1回以上	—	—	エコマ ネジメ ント 部 門	—
21	環境に関する情報公開・提供	年12回以上	—	○	エコガ バナ ン ス 部 門	○
22	環境自治体会議への参加や 自然環境保全に向けた 周辺自治体との連携	—	—	○	—	—

※ 達成状況：○＝達成、×＝未達成

※ 評価：○＝良好、△＝改善要望、×＝勧告

5. 所見

(1) 評価

平成22年度の独自目標について監査した結果、エコアクション部門は改善要望「△」、エコガバナンス部門は良好「○」と評価しました。

(2) エコアクション部門について

エコアクション部門について個々の達成状況をみると、14項目のうち9項目で目標を達成していませんでした。

小学校及び調理場の新設により、灯油・重油・LPG・都市ガスの使用量が減少したものの、電気・軽油の使用量が増加し、その結果として温室効果ガス排出量がこれらの施設だけで4.2%増加しています。能代市として数値目標を掲げ、職員の皆さんが削減に取り組まれているのですから、大きな変動が見込まれる場合、所管部署としては、業者にエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の予測値を求め、環境マネジメントシステムの推進事務局と協議する必要があります。さらに、導入することが分かっていたのであれば、予測値を目標設定委員会へ提示し、昨年度の数値目標に反映させるべきでした。

また、調理場を新設するにあたっては、軽油使用量や走行距離が少ない効率的な配送ルートとなるような立地を比較検討すべきでした。

今後、施設の新設や更新にあたっては、環境面からも検討するプロセスを加えるようにしてください。

一方で、緊急雇用事業を除くガソリン使用量、庁舎の事務用紙購入量、館内整理した部署を除くごみ排出量などについては減少しており、職員の皆さんの努力が伺えます。以上のことから、部門評価を改善要望「△」と評価しました。

(3) エコマネジメント部門について

3月下旬に計画されていた職員研修が東日本震災の影響で実施されず、評価しない「-」としました。やむを得ないことですが、今後はもう少し早い時期に計画し、災害や事故が発生しても延期して実施できるようにしてください。

(4) 環境基本計画の重点施策について

目標は平成24年度の数値ですが、22年度に目標を達成できていたのは1項目だけで、全体的に悪化する傾向にあります。24年度には目標を達成できているように、「環境のまちづくり市民懇談会」などとも相談し、今年度は目標に近づくよう積極的に推進してください。